

**「第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会」開催にともなう  
鹿児島県への経済波及効果について**

株式会社 九州経済研究所

「第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会」開催にともなう鹿児島県への経済波及効果についての試算をまとめた。

**1. 試算結果**

**(1) 産業連関分析による経済波及効果**

「第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会」開催にともなう来場者による消費支出額（需要発生額(A)）を32.5億円と試算し、「2015年 鹿児島県産業連関表」を用いて経済効果を算出した。その結果、直接効果<sup>注1</sup> (B)が28.2億円、間接効果(C+D)（第1次生産誘発額<sup>注2</sup> (C)10.3億円、第2次生産誘発額<sup>注3</sup> (D)5.0億円）が15.3億円、経済効果(E)は、43.6億円と試算され、生産誘発倍率(E/A)は、1.34倍となった。なお、最終的には、直接効果+第1次生産誘発額+第2次生産誘発額を経済効果とした。

**産業連関分析による経済効果の試算結果**

(単位：億円、人)

	生産 誘発額	付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	就業者 誘発数
需要発生額 (A)	32.5			
直接効果 (B)	28.2	14.4	6.3	308
第1次生産誘発額 (C)	10.3	5.4	2.2	86
第2次生産誘発額 (D)	5.0	3.3	1.1	38
経済効果 (E=B+C+D)	43.6	23.1	9.5	432
生産誘発倍率 (E/A)	1.34倍			

※四捨五入により合計が一致しないところがある。以下同じ。

<sup>注1</sup> 直接効果：需要発生額に自給率を乗じて、推計した県内における需要額である。

<sup>注2</sup> 第1次生産誘発額：宿泊費や飲食費、会場建設費などの直接効果の増加によって生み出される生産額の増加分である。

<sup>注3</sup> 第2次生産誘発額：第1次生産誘発額が生じた結果、各産業への波及効果により雇用所得が発生する。これに一定の比率を乗じた家計消費からの民間消費需要の増加によって生み出される、生産額の増加分である。

株式会社 九州経済研究所

## 2. 試算の概要

### (1) 来場者による消費支出額の推計

鹿児島全共への来場者による消費支出額を以下のように推計した。

#### ① 来場者数の推計

来場者数を過去の大会実績や、新型コロナウイルスの影響を考慮した直近の人流データなどから、29.0万人と推計した。

来場者数の推計

過去2大会平均		新型コロナウイルスの 影響による人出割合		推定来場者数
45.2 万人	×	64.3 %	=	29.0 万人

※「新型コロナウイルスの影響による人出割合」は九州経済調査協会「おでかけ指数（来訪地）」から算出。具体的には2022年6~8月の同指数月次値の2019年同月比（%）を平均した。

#### ② 来場者の内訳の推計

来場者の内訳は、観光庁の宿泊旅行統計などから、県内宿泊 3.4 万人、県外宿泊 5.7 万人、県内日帰り 17.0 万人、県外日帰り 3.0 万人と推計した。

来場者の内訳

(万人)

	県内	県外	合計
宿泊	3.4	5.7	9.0
日帰り	17.0	3.0	20.0
合計	20.3	8.7	29.0

#### ③ 消費支出額の推計

「2020年 観光入込客統計」より一人当たりの観光消費額を用いて、消費支出額の合計を 32.5 億円と推計した。

消費支出額

(億円)

	県内	県外	合計
宿泊	7.6	18.4	25.9
日帰り	4.9	1.7	6.6
合計	12.5	20.0	32.5

## (2) 産業連関分析

(1)で推計した結果より、需要発生額(A)を32.5億円と試算し、「2015年 鹿児島県産業連関表」を用いて経済波及効果を算出した。その結果、直接効果(B)が28.2億円、間接効果(C+D)(第1次生産誘発額(C)10.3億円、第2次生産誘発額(D)5.0億円)が15.3億円、経済効果(E)は、43.6億円と試算され、生産誘発倍率(E/A)は、1.34倍となった。なお、最終的には、直接効果+第1次生産誘発額+第2次生産誘発額を経済効果とした。

## 3. さいごに

前述のとおり、鹿児島全共来場者による本県への経済波及効果を43.6億円と算出した。

今回算出に用いた推計値は過去の大会実績をふまえつつ、新型コロナウイルスの影響を織り込んでいる。そのため、前回宮城大会の経済効果(101.2億円)や前々回長崎大会(110.8億円)を下回る結果となった。ただ今後の新型コロナウイルスの感染状況次第で変動する可能性があり、特に県民が盛り上げることで県外客の落ち込みをカバーしたい。

本県は前回宮城大会で団体優勝を果たしており、鹿児島大会でも和牛日本一に向けて官民一体となって全力で取り組んでいる。鹿児島全共を機に本県和牛の注目度や評価をさらに高め、県内外の持続的な消費拡大につなげることが求められる。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 経済調査部 (Tel 099-225-7491)